

平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果
国立大学法人徳島大学

1 全体評価

徳島大学は、高度な研究活動を基盤として「進取の気風」を育む教育と地域の目線に立った社会貢献を基軸にその社会的使命の達成を目指している。第3期中期目標期間においては、生涯にわたって学び続ける知と実践にわたる体系的な教育を行い、優れた専門的能力を持ち、自律して未来社会の諸問題に立ち向かう人材を育成するとともに、国際社会や地域社会で高く評価される研究成果を発信し、地域創生の中核的機関としての役割を果たすことを基本的な目標としている。

この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、戦略的な産学連携活動の展開による特許料等収入の増加を図るとともに、トランスオミクス医学研究拠点ネットワークによる研究体制の整備を推進するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

（「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について）

第3期中期目標期間における「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、平成28年度は主に以下の取組を実施し、法人の機能強化に向けて積極的に取り組んでいる。

- 教養教育院において、知識基盤社会を担う21世紀型市民としての人材を養成するための新しい教養科目として、新たに3つの医療系基盤教育科目の授業を開講しており、新しい教養科目について検討することとしていた年度計画を上回って進捗している。（ユニット「新学部設置等による学際的で地域のニーズやグローバル化に対応した人材育成教育の推進」に関する取組）
- 地方創生の視点から、産業界や行政、住民の期待に応えるため、地域再生等に精通し、地域創成活動に貢献できる人材を登録する「地域人材バンク」を創設し、2名を登録している。また、登録者数の拡大に向けて、徳島県立総合大学校が運用している「まなびーあ人材バンク」登録者に関する情報交換を徳島県と行っている。（ユニット「地（知）の拠点としての地方創生の推進」に関する取組）

2 項目別評価

＜評価結果の概況＞	特筆	一定の 注目事項	順調	おおむね 順調	遅れ	重大な 改善事項
(1) 業務運営の改善及び効率化			○			
(2) 財務内容の改善	○					
(3) 自己点検・評価及び情報提供			○			
(4) その他業務運営			○			

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善 ②教育研究組織の見直し ③事務等の効率化・合理化

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載12事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加 ②経費の抑制 ③資産の運用管理の改善

【評定】 中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある

(理由) 年度計画の記載5事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、特筆すべき点があること等を総合的に勘案したことによる。

平成28年度の実績のうち、下記の事項が**特筆**される。

○ 戦略的な産学連携活動の展開による特許料等収入の増

医歯薬系研究者との発明相談や面談を頻繁に行い、実用化が見込める研究者に対して集中的に支援を行う体制を構築するとともに、医薬品分野の知的財産部門での経験が豊富な担当者による調整の下、「関西圏」「徳島県」「四国地区」の3つの地域の特性に合わせて製薬企業等と産学連携を進めるなど、戦略的な産学連携活動を展開している。特に、収入の増加が期待される研究成果を特許化し、特許技術を発表する展示会等に組織的に出席することにより、研究成果の広報を積極的に行い、産業界による利活用を促進した結果、平成28年度には知的財産権保有額（約4,200万円）に占める著作権料・特許料収入（約1億2千万円）の割合が過去5年間の平均の約4倍と突出した伸びとなっており、評価できる。

平成28年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

○ クラウドファンディングの活用による新たな自己収入獲得方法の開拓

学術系を対象にクラウドファンディングを行っているacademist（アカデミスト）社との契約による購入型クラウドファンディングや、役員が理事を務める一般社団法人大学支援機構（Organization For People With Universities）が運営する、大学を中心に未来をつくる研究・教育・社会貢献等の分野で資金調達を応援するクラウドファンディングのサイト「Otsucle（おつくる）」を活用し、7件の事業について目標金額を超えて約1,067万円の支援を獲得するなど、研究資金等を集める新たな仕組みを積極的に開拓している。

（3）自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

①評価の充実 ②情報公開や情報発信等の推進

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

（理由） 年度計画の記載4事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

（4）その他業務運営に関する重要目標

①施設設備の整備・活用等 ②安全管理 ③法令遵守

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

（理由） 年度計画の記載7事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

67 徳島大学

平成28年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

○ 年度計画を著しく上回る目標の達成

年度計画【87-1】に関して、10名の職員が衛生管理者資格を取得しており、年度計画に掲げる目標である「5名以上」を著しく上回っていると認められる。

Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

平成28年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

○ 認定制度の整備による大学発ベンチャーの設立促進

大学発ベンチャーについて、設立が期待できる研究者等を公募し学長裁量経費から総額500万円を11件の事業に対して配分するとともに、他企業への紹介・仲介や研究室等学内施設の貸与等の支援策を明記した、認定に関する規則を制定し、徳島大学発ベンチャーの認定制度を整備した結果、年度計画に掲げる1社を上回る6社の大学発ベンチャーが設立されている。

○ 熊本地震により被災した研究者に対する研究継続支援の実施

熊本地震により研究室が被災し、研究遂行が困難となった研究者を対象に、共同利用・共同研究拠点である先端酵素学研究所において研究材料の保管や研究機器による測定等を支援する事業を公募し、3件を採択している。

○ 地元企業における長期インターンシップの実施

地域企業等への就職を志向する学生を育成するため、学生が1ヶ月間のインターンシップに参加し、受入企業・団体の担当者と一つのチームメンバーとなり県内企業等が抱える課題等の解決に取り組む「実践力養成型インターンシップ」を実施し、35名の学生が参加している。

○ トランスオミクス医学研究拠点ネットワークによる研究体制の整備

先端酵素学研究所では、生体恒常性破綻による様々な疾病の病因解明・診断・治療を目的として、関連分野の研究を推進する東京医科歯科大学、九州大学、熊本大学の各拠点と「トランスオミクス医学研究拠点ネットワーク形成事業」を開始しており、他大学や研究機関等と連携・協力しオールジャパンによる研究推進体制を強化している。

附属病院関係

(教育・研究面)

○ 動脈硬化等の進行予防による健康増進に資する研究の推進

動脈硬化等の進行予防による健康増進に資する研究を推進し、女性におけるメタボリック症候群発症予測マーカーの基準値策定に世界で初めて成功している。コホート研究の成果である「メタボリック症候群発症予測」により、将来のメタボリック症候群発症のリスク判定が可能となるとともに、県内検診機関において新規検査項目として採用されるといった実績をあげている。

○ 新たな低侵襲性医療技術の開発推進

整形外科において、ホルマリン固定されていない遺体を使用して、身体に対する侵襲度が低い新たな医療技術として経皮的内視鏡下腹側椎間関節切除術を国内で初めて開発している。この技術により、これまで全身麻酔が困難であった、心臓や肺に疾患を抱える高齢狭窄症患者に対して手術を実施できるようになることが見込まれる。

(診療面)

○ 遠隔医療システムを活用した医療連携の推進

脳神経外科において、徳島県下の関連病院、四国こどもとおとな医療センター（香川県）、高知赤十字病院（高知県）との間で構築している、スマートフォンやテレビ会議を用いた遠隔医療システム（TELESTROKE-JO）を活用し、平成28年度は、脳卒中による搬送の100%となる292件に対して、MRIやCTの画像情報等を一斉送受信し、別の場所にいる複数の医師が治療方針をリアルタイムで確認し合うことにより、迅速な脳卒中診断を行っている。

○ てんかん診療に係るチーム医療の推進

てんかん診療に関わる診療科や診療部門が連携し包括的かつ円滑なてんかん診療・教育・研究を行うことを目的として、四国地区の病院で初めて「てんかんセンター」を開設し、小児科医、精神科医、神経内科医、脳神経外科医に加え、臨床検査部や看護部、放射線科・放射線部、リハビリテーション部、患者支援センターが連携して診療に取り組むなど、てんかん診療に係るチーム医療を推進している。